No.13　平成28年11月発行
〒020-0401
盛岡市手代森9-70-1
電話番号　019-696-2055
FAX 番号 019-696-4185

社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

ごあいさつ

看護部長
古川　厚

関係機関の皆様、日頃より当院の運営にご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて10月7日～8日、福岡県久留米市において第24回日本精神科救急学会が開催されました。精神科看護の学会などにはよく参加していますが、救急学会は初めて参加しました。何か独特の雰囲気でした。

当院は今年3月救急病棟を開設した事もあり、7名参加し3題発表しました。医師、看護師、精神保健福祉士などたくさんの職種の方々が参加しておりましたが、東北地方からの参加は少なかったようです。2日間にわたり、さまざまな講演やシンポジウム、一般演題の発表などが行なわれましたが、精神科救急に特化した内容の濃いものが多くありました。特に病床数の2倍以上の患者さんを受け入れるアパートを運営している病院や、すべての病床が精神科救急病床の病院などの発表には聞いていて引き込まれるものがあり他県の精神科病院は進んでいると思いました。

教育研修コースシンポジウムにおいて、智田医師が「地域移行機能強化病棟における当事者を交えた地域移行支援プログラムの成果と課題」を発表し、一般演題発表では、救急病棟看護師とこれからの暮らし支援部医療福祉相談室から1題ずつ発表しました。看護部からは児童思春期患者に対しての医療、教育、福祉との連携について、医療福祉相談室からは多職種での退院調整カンファレンスを通して地域生活の基盤形成について当院での取り組みを発表しました。

短期入院や病床削減など国の政策そのままの動きに、ときどき疑問を感じることもありましたが、この学会で精神科救急とは何かについて理解できとても良い刺激を受けました。

これからも精神科救急病院として関係機関の皆さまからのお問い合わせやご紹介に迅速かつ適切に対応していけるよう職員一同頑張ります。今後とも、変わらぬご指導をお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

８つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔を絶やすことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛みに涙する」温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊敬と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます

皮膚・排泄ケア認定看護師の紹介

皮膚・排泄ケア
認定看護師
小田島　史恵

昨年3か月の盛岡日赤病院での外部研修を経て、沖縄での7ヶ月間の皮膚・排泄ケア認定看護師の養成課程の研修を終え、今年7月に無事資格を取得することが出来ました。研修の中では、現在一般・急性期病院において精神科患者さんのストーマや創傷管理が困難とされ、精神科におけるケア方法に期待が寄せられている事を知りました。しかし、皮膚・排泄ケア領域においては、まだまだ精神科領域からの情報発信が少なく、現状が理解されていない事も感じました。

現在は病棟の業務と兼務しながら、院内のストーマ保有患者さんのケア、褥瘡保有患者さんのケアや褥瘡リスクのある方の予防に向けて各病棟の看護師や多職種と連携を図りながら活動しています。

精神科病院においても、認知症患者の増加、スーパー救急稼働に伴い患者像も多様化し、今後は精神症状のみならず身体合併症に伴いストーマの管理、褥瘡も含め様々な創傷が増加することが予想されます。また、医療の場が地域へ移行し、周辺の地域や医療機関との連携がより一層求められます。患者さんが地域の中で隔たりなく、安心して生活が送れるように、精神科の皮膚・排泄ケア認定看護師としての役割を院内のみならず院外活動も積極的に行なっていきたいと考えています。

まだまだ未熟ではありますが今後ともよろしくお願い致します。

地域移行機能強化病棟～「にこにこ☺おはなしサロン」～

リハビリテーション科
作業療法士
明石　恵美

Ｃ２病棟は今年度から地域移行機能強化病棟として長期入院患者様の地域生活へ向けての支援を行っています。その支援の一環として、７月から意欲喚起プログラム『にこにこ☺おはなしサロン』を毎月開催し、当該病棟入院患者様全員を対象として社会資源や退院後の生活に対してのイメージが持てる様な内容の提供をと工夫を凝らしています。

プログラムの内容は２部構成となっており、１部は関係行政機関をお招きしての社会資源に関する講話、２部はピアサポーターが主体となった買い物外出やデイケアメンバーによる入院から退院、さらに退院後の地域社会生活の体験談発表となっています。1部は主にPSWが調整、2部はデイケアのスタッフ、患者様の協力を得ています。

患者様も真剣な表情で講話を傾聴し、講演後の質疑応答では積極的に質問・意見が飛び交っています。また、プログラム終了後には、病棟ホールにてプログラムの内容をまとめたものを掲示しており、いつでも疑問に思ったことを聞くことが出来る様な体制をとっています。この支援を継続し、退院への不安軽減や意欲喚起となるよう今後も病棟職員、関係部署一同努めていきたいと思います。

東北精神保健福祉学会
(H28.10.23 弘前市)に参加・発表しました

社会復帰支援室
臨床心理士
藤本　恵里

「働くこと」をテーマにしたプログラムの実践報告を行いました。今年新しく立ち上げた『デイケアいなほ』は、就労希望者が多いのが特徴です。働く希望を膨らませ、叶えるプログラムを充実させるため、これまでのプログラムに加え、新たにワールド・カフェという手法を取り入れました。過去の就労経験を振り返ったり、他の利用者の経験を聞いたりしたことが、自身の経験の捉え直しや、新たな気付きの獲得に繋がっているようでした。

シンポジウムや口頭発表では、ハローワーク等医療機関以外と連携しながら就職をサポートする取り組みや、職場定着には長期の支援が必要であることが印象に残りました。今後の支援に役立てていきたいと思います。

看護師
加藤　悟

長期入院により社会生活に支障をきたした患者に対する退院支援について発表しました。私の勤務する病棟では長期入院の患者さんが多く、社会適応能力の低下から生じる生活のしづらさ、困難さに視点をあて根気よく支援したことで社会復帰に繋がった事例を発表しました。

シンポジウムでも長期入院の患者さんが退院し就労するには、どのような支援が必要なのかディスカッションされていました。

今後も長期入院の患者さんが退院するだけではなく、社会資源と連携しながら患者さんの望む生活に少しでも近づくよう支援していきたいと思います。

トピックス

今回は、臨床検査科検査室を紹介します。

■臨床検査室

主任検査技師
北條　仁美

臨床検査科検査室では、血液・尿検査、心電図、脳波、超音波検査等で血液検査は月700件、尿検査は月450件、心電図は月80件、脳波検査は月25件、超音波検査は月40件を臨床検査技師2名で行っています。精神科では、他科よりも薬剤治療管理が重要で、血液検査を行っている一割強の方が血中薬物検査の該当者になります。

検査というとあまり馴染みがなく、「どういうことをするのだろう」「検査をして何がわかるのだろう」と不安感を持たれる方には、丁寧にご説明しています。精神科の患者様は、ストレス状態にある方が多く出来るだけリラックスして検査を受けて頂くよう、時には病室に出向いて行うこともあり、患者様の状態を看護との連携で的確に把握し、気持ちよく検査を受けて頂くように努めています。

なお、当院では2013年の急性期治療病棟運営後まもなくから、検査を24時間対応出来る体制を作っています。その他に感染対策委員会、医療安全対策委員会に所属し、他部署と連携して業務にあたっています。

～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間 平日：9:00～16:00
土曜：9:00～12:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室 **外来師長　砂** とご指名ください。はじめての受診・入院相談を地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：http://www.i-seiwa.com/chiikiiryorenkei.html

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	菊地医師	八重樫医師	田嶋医師	佐々木医師 石川医師	遠藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木医師 八重樫医師 第2・第4 田嶋医師 第2・第4・第5 遠藤医師
再診担当	菊地医師	田嶋医師 智田医師	佐々木医師 遠藤医師	智田医師	石川医師 八重樫医師	

診療時間

月曜日～金曜日	9：00～17：00
土曜日	9：00～12：00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス

社会医療法人智徳会
未来の風せいわ病院

〒020-0401　岩手県盛岡市手代森9-70-1
TEL：019-696-2055(代)
FAX：019-696-4185
http://www.i-seiwa.com

バス

●長岡線・日詰駅前行き
盛岡駅（5番）発又はバスセンター（構内3番）より乗車、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き
盛岡駅（5番）発バスセンター（NANAK[旧中三]向）経由、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き
盛岡駅（5番）発バスセンター（NANAK[旧中三]向）経由、手代森ニュータウン入口降車（約30分）バス停より徒歩3分

車

●盛岡駅から車で20分
（国道4号・396号経由 都南大橋過ぎセブンイレブン左折後、500m左側）
●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
（県道36号・国道396号経由　同上）
※無料駐車場完備